

越美山地 緑の回廊

管轄森林管理局・署

中部森林管理局・岐阜森林管理署
近畿中国森林管理局・福井森林管理署、滋賀森林管理署

所在地

岐阜県本巣市・揖斐川町、福井県大野市・池田町・南越前町、滋賀県長浜市

面積

24,483ha

設定年

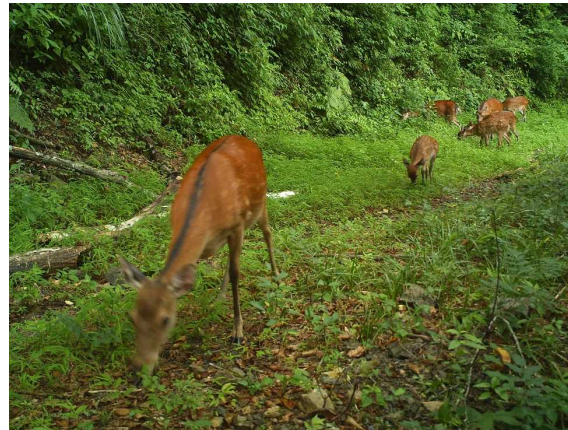
平成16年

緑の回廊の概要 (設定目的)

福井県、岐阜県の県境に位置する越美山地は、九頭竜川、揖斐川、長良川の水源地で、有名な伝説のある夜叉ヶ池や白山権現社をまつる能郷白山が所在する。越美山地緑の回廊では、国内希少野生動植物種のヤシヤゲンゴロウ、日本海側特有のブナ林等が見られるほか、国指定特別天然記念物のニホンカモシカをはじめとした様々な動物達の移動・交流が行われている。連結する保護林は、三周ヶ岳ブナ植物群落保護林、能郷白山ブナ植物群落保護林、岩の子ブナ植物群落保護林、檜俣ブナ植物群落保護林、夜叉ヶ池水生昆虫生息地保護林、上谷山ブナ・ミスナラ植物群落保護林、以上の6箇所、2,715haであり、緑の回廊と保護林との合計面積は27,199haである。



森林の概観



ニホンジカの群れ

中部森林管理局官内のモニタリング調査の概要

実施年度

令和2年度

調査項目

樹木の生育状況、野生動物の生息状況（哺乳類、鳥類、農林産物被害・狩猟鳥獣、ツキノワグマ・ニホンジカの被害）

調査手法

既設の調査プロット6箇所において、森林概況調査、哺乳類調査（フィールドサイン、自動撮影）、鳥類調査（スポットセンサス法）、及びツキノワグマ・ニホンジカによる林業被害状況調査を行った。
また農林産物被害と狩猟鳥獣に関して、資料調査と聞き取り調査を行った。

結果概要

- ・調査プロット及び周辺森林の林相に大きな変化は見られなかった。
- ・哺乳類は11種が確認された。ニホンジカは平成26年度調査で増加傾向が示されたが、今回さらに顕著に増加した。イノシシは平成26年度調査では著しく増加したが、本年度は平成24年度以前の水準にまで低下した。
- ・鳥類は10目23科36種が確認された。平成26年度調査と比較して、ツミ、ハイタカ、クマタカの猛禽類をはじめ、14種が新たに確認された。
- ・林業被害について、ツキノワグマによる造林木への皮剥ぎが増加した。
- ・農産物被害について、イノシシによるものは大きく減少し捕獲頭数も減った。ニホンジカによるものは増加しており捕獲頭数も増えた。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。